

物流と包装材における環境配慮

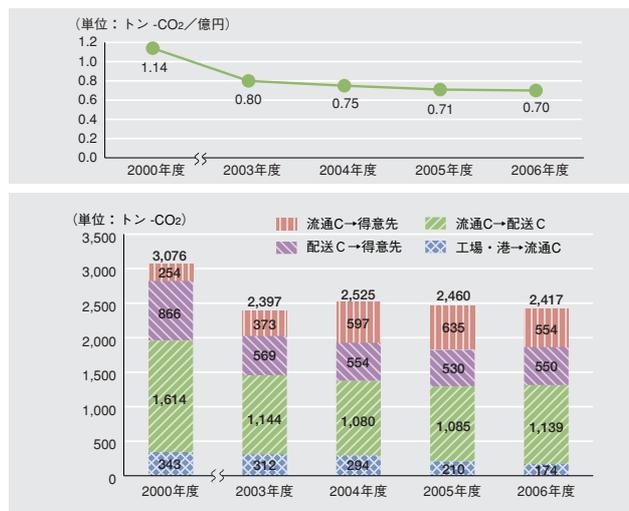
カシオは製品物流で発生するCO₂を削減するために、輸送方法の転換や包装の改善、輸送効率の向上を図ります。

物流

国内物流における取り組み

◆CO₂削減の2006年度実績

2006年度のCO₂実績は排出量で前年度比98.2%、売上高原単位で前年度比97.9%となりました。*2000年度比では39%削減



※国内完成品のみ、システム製品の出荷分も除く

当初、2007年度までという目標でしたが、国内物流拠点統合スケジュールの変更の影響で目標年度を変更します。

海外物流における取り組み

◆CO₂削減の2006年度実績

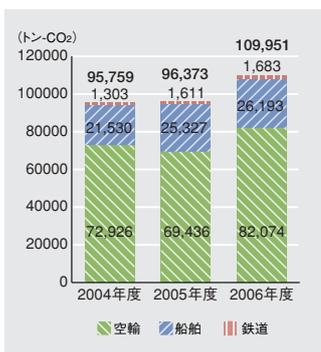
2006年度のCO₂実績は排出量で前年度比114.1%、売上高原単位で前年度比106.7%となりました。

一般品目については、空輸削減推進効果によりCO₂は削減しましたが、空輸中心のデジタルカメラの売上増によりCO₂が増加しています。

但し、デジタルカメラについては2007年度、さらなる梱包縮小化を推進しており、全仕向地にて実施することで約2,800トンのCO₂削減が見込まれています。



※完成品



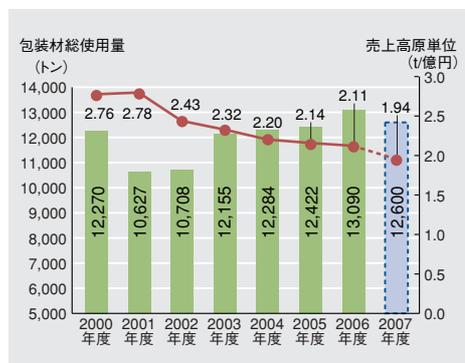
包装

2006年度の目標に対する実績報告と今後の取り組み

2007年度までに2000年度比で売上高原単位で30%削減を目標に活動を展開しています。

2006年度は、売上高原単位2.11となり、前年度比1.1%減となり、2000年度比23.7%減になりました。

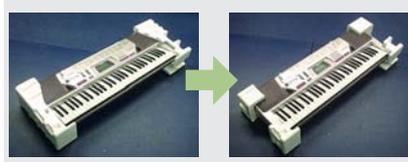
今後の取り組みについては、2007年度の目標達成に向け、包装材の使用量削減と、箱の小型化による、CO₂削減に努めていきます。



*包装材総使用量の対象素材は、紙系、段ボール、プラスチック系、発泡スチロール素材です。

2006年度包装改善事例

電子楽器で使用している発泡スチロールを4コーナーのみとした結果、包装材使用量を約30%削減しました。



また、CO₂削減に向け全商品対象に箱の小型化を推進し、40フィートコンテナ14台分相当の省スペース化により、輸送効率が向上、CO₂削減に寄与しました。

包装関連情報のデータベース化

包装廃棄物法規制管理が世界的に拡大してきている中、物流と包装に関する情報を集約化し、精度を向上させ、可視化させることが必要とされています。そこで、2006年度は、包装関連情報をデータベース化し、細目情報の管理運用を開始しました。これを全製品に拡げていくことにより、社内業務の効率化を図るだけでなく、同時に、お取引先への早期情報提供ができるようになりました。

